

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2021年5月25日から2031年9月22日まで	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラス I 投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラス I 投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	制限を設けません。
	マザーファンド	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎月20日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市場動向等を勘案し決定します。 なお、分配を行わない場合があります。	

# シュローダー・ グローバル・リート ESGフォーカス・ファンド (予想分配金提示型)

## 運用報告書(全体版)

第41期	(決算日	2024年10月21日)
第42期	(決算日	2024年11月20日)
第43期	(決算日	2024年12月20日)
第44期	(決算日	2025年1月20日)
第45期	(決算日	2025年2月20日)
第46期	(決算日	2025年3月21日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、「シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・ファンド(予想分配金提示型)」は、2025年3月21日に第46期の決算を行いました。  
ここに、謹んで過去6ヵ月間の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3  
丸の内トラストタワー本館21階  
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

**Schroders**  
シュローダー・インベストメント・マネジメント

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			投資信託 組入比率	純資産 総額
		税分	込配	み騰落 期中率		
	円	円	円	%	%	百万円
17期(2022年10月20日)	9,590	0		△6.2	98.1	6,118
18期(2022年11月21日)	9,668	0		0.8	98.0	6,216
19期(2022年12月20日)	9,176	0		△5.1	96.8	5,864
20期(2023年1月20日)	9,178	0		0.0	98.0	5,865
21期(2023年2月20日)	9,798	0		6.8	98.4	6,251
22期(2023年3月20日)	8,888	0		△9.3	98.1	5,666
23期(2023年4月20日)	9,245	0		4.0	98.3	5,865
24期(2023年5月22日)	9,335	0		1.0	98.6	5,874
25期(2023年6月20日)	9,939	0		6.5	98.0	6,185
26期(2023年7月20日)	9,899	0		△0.4	98.0	6,110
27期(2023年8月21日)	9,664	0		△2.4	98.8	5,885
28期(2023年9月20日)	10,063	0		4.1	97.4	6,003
29期(2023年10月20日)	9,517	0		△5.4	98.1	5,638
30期(2023年11月20日)	9,998	0		5.1	98.7	5,883
31期(2023年12月20日)	10,535	0		5.4	97.0	6,100
32期(2024年1月22日)	10,535	50		0.5	98.5	5,926
33期(2024年2月20日)	10,727	50		2.3	98.5	5,894
34期(2024年3月21日)	10,818	50		1.3	97.9	5,793
35期(2024年4月22日)	10,499	0		△2.9	98.5	5,507
36期(2024年5月20日)	11,205	100		7.7	98.9	5,767
37期(2024年6月20日)	10,994	100		△1.0	99.0	5,580
38期(2024年7月22日)	11,422	100		4.8	99.2	5,635
39期(2024年8月20日)	10,782	50		△5.2	98.4	5,263
40期(2024年9月20日)	11,149	100		4.3	98.5	5,424
41期(2024年10月21日)	11,362	100		2.8	99.3	5,497
42期(2024年11月20日)	11,154	100		△1.0	99.4	5,356
43期(2024年12月20日)	10,747	100		△2.8	97.9	5,114
44期(2025年1月20日)	10,722	50		0.2	99.2	5,100
45期(2025年2月20日)	10,520	50		△1.4	98.9	4,962
46期(2025年3月21日)	10,220	0		△2.9	97.4	4,799

(注) 基準価額、税込み分配金は1万円当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落	率	
第41期	(期 首) 2024年 9月20日	円 11,149		% —	% 98.5
	9月末	11,158		0.1	98.6
	(期 末) 2024年10月21日	11,462		2.8	99.3
第42期	(期 首) 2024年10月21日	11,362		—	99.3
	10月末	11,527		1.5	98.5
	(期 末) 2024年11月20日	11,254		△1.0	99.4
第43期	(期 首) 2024年11月20日	11,154		—	99.4
	11月末	11,217		0.6	98.1
	(期 末) 2024年12月20日	10,847		△2.8	97.9
第44期	(期 首) 2024年12月20日	10,747		—	97.9
	12月末	10,898		1.4	97.4
	(期 末) 2025年 1月20日	10,772		0.2	99.2
第45期	(期 首) 2025年 1月20日	10,722		—	99.2
	1月末	10,675		△0.4	98.5
	(期 末) 2025年 2月20日	10,570		△1.4	98.9
第46期	(期 首) 2025年 2月20日	10,520		—	98.9
	2月末	10,510		△0.1	98.7
	(期 末) 2025年 3月21日	10,220		△2.9	97.4

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

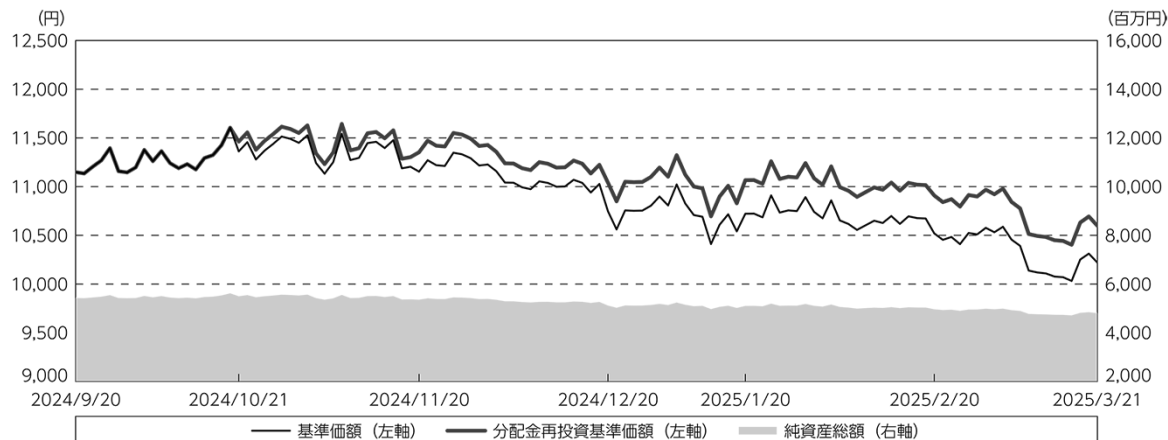
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

（2024年9月21日～2025年3月21日）

作成期間中の基準価額等の推移



第41期首：11,149円

第46期末：10,220円（既払分配金（税込み）：400円）

騰落率：△ 4.9%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年9月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

当作成期首11,149円でスタートした基準価額は、10,220円（分配後）で当作成期末を迎え、当作成期首比4.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

当作成期、ファンドのリターンはマイナスとなりました。国別では、インドへの配分は奏功したものの、米国やドイツ、英国への配分は主な下落要因となりました。セクター別では、ヘルスケアリートや各種リートへの配分が上昇要因となった一方、工業用リートや不動産運営会社などへの配分が下落要因となりました。

## 投資環境

当作成期、世界の不動産株式およびリート市場は、下落しました。

当作成期初から2025年1月初旬にかけて、下落基調を辿りました。堅調な米国経済指標の発表のほか、トランプ氏が米国大統領選挙で勝利したことで同氏が掲げる政策がインフレ圧力の再燃につながるとの懸念などを背景に、米連邦準備制度理事会（FRB）の2025年金融政策見通しを巡る不確実性が高まったことで米国長期金利が上昇したこと等がマイナス要因となりました。その後、中国の新興企業DeepSeekが低コストな人工知能（AI）を開発したと報道されたこと等を背景に一部の米国大型ハイテク銘柄の上昇が一服し、その他の市場が相対的に優位に展開する中、上昇基調に転じました。2月は、米国の関税政策を巡る懸念や一部の米国経済指標が軟化の兆候を示したことで投資家センチメントが悪化しましたが、米国長期金利が低下したことが追い風となり上昇しました。しかし、3月から当作成期末にかけては、米国の通商政策が世界経済に与える影響が懸念される中、投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落しました。

米ドル円レートについては、当作成期初から2025年1月初旬にかけて円は対米ドルで下落しましたが、その後は日本銀行の利上げ観測が広がり日本の長期金利が上昇する中、円高基調に転じ、下落幅を縮小して当作成期を終えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンドにおいて、投資比率が高位であるシュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラスI 投資証券の運用について

2024年9、10月に、相対的なバリュエーション（価値評価）妙味から、米国の工業用リートではテレノ・リアルティを売却し、アメリカールド・リアルティに投資を行ったほか、日本ではヒューリック（各種リート）の保有を解消し、日本アコモデーション（集合住宅用リート）に投資を行いました。また、高齢化のトレンドが追い風になるとみて、ライフスタイル・コミュニティ（オーストラリアの不動産開発）に投資を行いました。11、12月に、相対的な上昇余地が大きいとみて、セグロ（英国の工業用リート）を一部売却し、ユニバイル・ロダムコ・ウェストフィールド（フランスの店舗用リート）の保有を積み増したほか、米国ではインビテーションホームズ（一戸建て住宅用リート）の保有を解消、エセックス・プロパティ（集合住宅用リート）に投資を行いました。また、米国の店舗用リートについて、ブラックストーン社がリテール・オポチュニティ・インベストメントの買収を発表したため、同リートの保有をキムコに入れ替えたほか、目標株価に近づいたと判断したサンコムコミュニティーズ（米国の一戸建て住宅用リート）やウエルタワー（米国のヘルスケアリート）を一部売却しました。2025年1月、貸倉庫の需給動向を懸念し、キューブスマート（米国のトランクルームリート）を一部売却しました。また、相対的に上昇余地が大きいとみて、1月にリンク（香港の店舗用リート）の保有を解消し、ホンコンランド（香港の不動産運営会社）に投資を行ったほか、2月にはセグロ（英国の工業用リート）を一部売却し、ブリティッシュ・ランド（英国の各種リート）の保有を積み増しました。そのほか、リスク・リターン特性の魅力度が相対的に低いと判断し、3月中にインストーン（ドイツの不動産開発）の保有を削減しました。

### <ファンドの主要投資対象におけるサステナビリティ基準適合比率について>

ファンドの主要な投資対象ファンドである「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラスI 投資証券」は、持続可能な投資を目的としています。これは、より環境に強く、革新的な都市とインフラ・ストラクチャーに貢献する投資です。この目的を確実にするために、投資運用会社は投資対象銘柄の選択において以下のプロセスによりサステナビリティ基準を適用します。

投資可能なユニバースは2段階においてサステナビリティ指標を用いて分析され、サステナビリティ評価が低い銘柄は除外されます。

— ステージ1では、都市スコアの策定を実施し、企業が所有する物件のロケーションを定量的に評価します。

投資可能なユニバースからサステナビリティ評価が低い企業は除外されます。

— ステージ2では、シュローダー独自および外部機関のサステナビリティ分析ツールを用いて企業を定量的に評価します。投資可能なユニバースのうち、サステナビリティ評価の相対的に低い企業は除外されます。

投資運用会社は、かかるプロセスにより、ファンドの主要な投資対象ファンドの純資産総額の90%以上の組入銘柄がサステナビリティ基準に適合することを確保します。

2024年9月21日から2025年3月21日までの報告期間中、ファンドの主要な投資対象ファンドは、上記のプロセスにより設定されたサステナビリティ基準を満たす投資可能なユニバースにのみ投資しました。

2025年3月21日現在、投資対象ファンドの純資産総額に対してシュローダーのサステナビリティ基準に適合した組入銘柄のエクスポージャーは99.0%となっています。

### <スチュワードシップ方針について>

シュローダーは、投資先企業やその事業環境等に関する深い理解に基づく「建設的な対話」（エンゲージメント）、積極的な議決権行使などを通じて、当該企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、投資リターンの拡大を図る責任を有すると考えています。

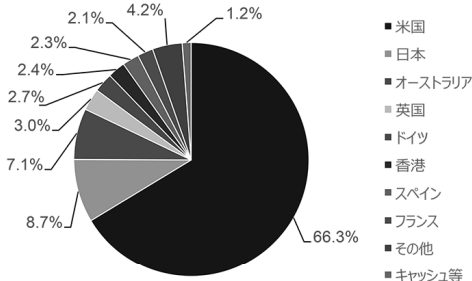
伝統的な財務分析に加え、企業が環境、社会、ガバナンス（ESG）に関するリスクにどの程度さらされているか、また、それをどのように管理しているか、を分析することは、適正な企業価値の理解、長期的に持続可能な利益を創出する能力の見極めという観点で非常に有益だと考えています。

シュローダーのスチュワードシップ・コードに係わる取組み内容やエンゲージメントの実施例については、委託会社のホームページをご参照ください。

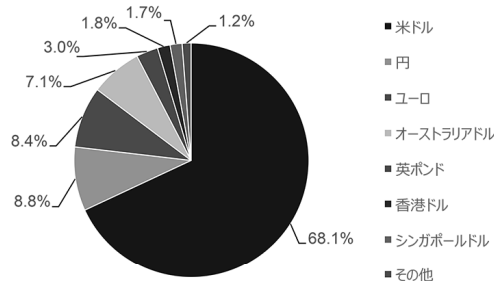
(<https://www.schroders.com/ja-jp/jp/intermediary/about-us/stewardshipcode/>)

マザーファンドの主要投資対象である  
「シュローター・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ（◆）」の概要

■ 国／地域別組入比率



■ 通貨別組入比率



■ ポートフォリオの特性値

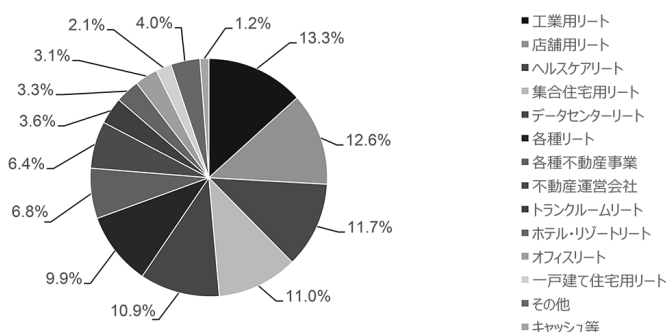
ポートフォリオ	特性値
配当利回り	3.7%

・配当利回りは、過去1年の配当実績と株価から計算しており、上記はポートフォリオにおける平均値です。

■ 資産配分比率

資産	比率
リート	82.6%
株式	16.2%
キャッシュ等	1.2%
合計	100.0%

■ 業種別組入比率



※組入比率グラフについては、四捨五入により合計が100%にならないことがあります。

■ 組入上位10銘柄 (銘柄数: 59銘柄)

順位	銘柄名	国／地域	業種	投資比率
1	エクニクス	米国	データセンターリート	5.8%
2	デジタル・リアルティ	米国	データセンターリート	5.1%
3	プロロジス	米国	工業用リート	4.7%
4	サイモン・プロパティ	米国	店舗用リート	4.6%
5	ウェルタワー	米国	ヘルスケアリート	4.0%
6	ペンタス	米国	ヘルスケアリート	3.9%
7	アバロンベイ・コミュニティーズ	米国	集合住宅用リート	3.3%
8	エクイティ・レジデンシャル	米国	集合住宅用リート	3.0%
9	パブリック・ストレージ	米国	トランクルームリート	2.7%
10	ヴォノヴィア	ドイツ	不動産運営会社	2.4%

◆「シュローター・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラス投資証券」のマスターファンドを指します。グラフや表における業種は、GICS(世界産業分類基準) の分類、国／地域別は、原則として当該銘柄が主に取引されている取引所の所在国に基づき、マスターファンドの投資運用会社が作成した分類により表記しております。なお、国／地域別、通貨別、業種別の組入比率および組入上位銘柄の各組入比率は、マスターファンドにおける純資産比です。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

## 分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、第41期から第43期は、1万口当たり課税前で100円、第44期から第45期は、1万口当たり課税前で50円、第46期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
	2024年9月21日～ 2024年10月21日	2024年10月22日～ 2024年11月20日	2024年11月21日～ 2024年12月20日	2024年12月21日～ 2025年1月20日	2025年1月21日～ 2025年2月20日	2025年2月21日～ 2025年3月21日
当期分配金	100	100	100	50	50	—
（対基準価額比率）	0.872%	0.889%	0.922%	0.464%	0.473%	—%
当期の収益	100	—	—	0	—	—
当期の収益以外	—	100	100	49	50	—
翌期繰越分配対象額	1,362	1,186	1,086	1,036	986	986

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

投資家は、2022年に金利上昇を受けて不動産セクターから資金を引き揚げ、足元も不動産セクターの保有比率を低位で維持しています。2008年の金融危機時も不動産セクターに対する投資家の選好姿勢は弱まりましたが、これは、不動産セクターのファンダメンタルズの悪化を反映したものでした。一方、足元の不動産セクターのファンダメンタルズは堅調であり、安定したインカムと成長機会を提供していると考えます。ファンダメンタルズが堅調を維持する中、主要国における金利低下が進んだ場合、不動産価値の上昇につながるとみています。投資家の資金引き揚げを受けて、上場不動産と未上場不動産のバリュエーションには乖離が存在していると考えます。上場不動産が相対的に割安な水準で取引される中、2024年には上場不動産の非公開化が活発に行われ、バリュエーションが魅力的な水準にあることを示唆しました。永続的なものではありませんが、依然として裁定取引の機会が残っているとみています。また、2022年のインフレを発端として原材料費が高騰し、さらに、金利上昇に伴い開発資金の借入れコストも上昇した結果、利益率の低下に伴い、多くの不動産デベロッパーが開発プロジェクトの延期を決定しました。多くの業種で需要が供給を上回っているため、既存オーナーは賃料を引き上げることが可能で、物件価値の向上につながると考えます。そのほか、ヘルスケアセクターにおける人口動態の変化に伴う投資機会等、業種固有の構造的要因も存在すると考えています。

当ファンドでは、当面の運用方針として競争力の高い都市に物件を持ち、サステナビリティの観点から銘柄を厳選することでポートフォリオを構築しています。投資銘柄の選定や配分決定プロセスにおいて独自のESG分析を利用しています。運用チームは、引き続き、不動産市場での変化のトレンドから恩恵を受けると考えられる銘柄、特にデジタル経済の台頭をサポートする銘柄を選好する方針です。運用チームは、これらのトレンドが今後も進展し、3年～5年の投資期間にわたってポートフォリオのパフォーマンスを向上させると考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2024年 9 月21日～2025年 3 月21日）

項 目	第41期～第46期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	90	0.823	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(45)	(0.411)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンドの運用判断、受託会社への指図</li> <li>・基準価額の算出ならびに公表</li> <li>・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等</li> <li>・運用報告書等各種書類の交付</li> <li>・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等</li> </ul>
（ 販 売 会 社 ）	(43)	(0.395)	
（ 受 託 会 社 ）	( 2)	(0.016)	
(b) そ の 他 費 用	4	0.034	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 0)	(0.000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用</li> <li>・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用</li> <li>・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用</li> </ul>
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.006)	
（ 印 刷 費 用 ）	( 3)	(0.028)	
合 計	94	0.857	
作成期間の平均基準価額は、10,997円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

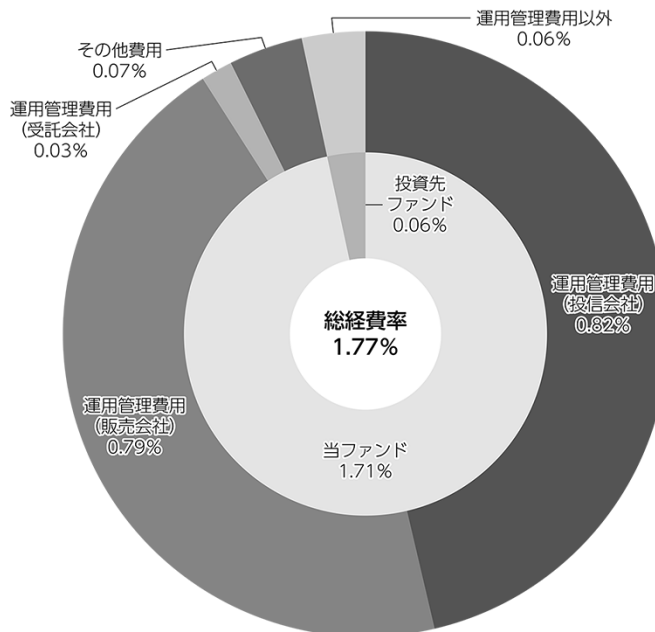
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.77
①当ファンドの費用の比率	1.71
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用については、投資先ファンドの管理会社が発行する年次報告書（アニュアル・レポート）の記載に基づきます。なお、投資先ファンドの運用管理費用（信託報酬）は当ファンドの運用管理費用（投信会社分）から支払われるため、別に収受しておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年9月21日～2025年3月21日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第41期～第46期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
シュロダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド	千口 78,992	千円 105,030	千口 432,915	千円 576,540

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年9月21日～2025年3月21日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年3月21日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第40期末	第46期末	
	口 数	口 数	評 価 額
シュロダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド	千口 4,141,285	千口 3,787,362	千円 4,806,541

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年3月21日現在)

項 目	第46期末	
	評 価 額	比 率
シュロダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド	千円 4,806,541	% 100.0
コール・ローン等、その他	1,751	0.0
投資信託財産総額	4,808,292	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュロダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（15,040,894千円）の投資信託財産総額（15,484,443千円）に対する比率は97.1%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=149.06円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第41期末	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末
	2024年10月21日現在	2024年11月20日現在	2024年12月20日現在	2025年1月20日現在	2025年2月20日現在	2025年3月21日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	5,557,772,199	5,415,290,170	5,187,552,154	5,149,500,300	4,996,262,330	4,808,292,231
<sub>シュローター・グローバル・リートESGフォーカス・ファンド信託</sub>	5,554,143,404	5,412,229,654	5,169,441,975	5,132,120,816	4,993,164,255	4,806,541,847
未収入金	3,628,795	3,060,516	18,110,179	17,379,484	3,098,075	1,750,384
(B) 負債	59,986,181	58,807,017	73,205,763	48,639,661	34,092,651	8,433,176
未払収益分配金	48,386,390	48,024,426	47,586,408	23,787,334	23,584,829	—
未払解約金	3,628,795	3,060,516	18,110,179	17,379,484	3,098,075	1,750,384
未払信託報酬	7,666,409	7,423,159	7,218,422	7,171,581	7,100,449	6,388,927
その他未払費用	304,587	298,916	290,754	301,262	309,298	293,865
(C) 純資産総額(A－B)	5,497,786,018	5,356,483,153	5,114,346,391	5,100,860,639	4,962,169,679	4,799,859,055
元本	4,838,639,018	4,802,442,624	4,758,640,828	4,757,466,979	4,716,965,846	4,696,460,626
次期繰越損益金	659,147,000	554,040,529	355,705,563	343,393,660	245,203,833	103,398,429
(D) 受益権総口数	4,838,639,018口	4,802,442,624口	4,758,640,828口	4,757,466,979口	4,716,965,846口	4,696,460,626口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,362円	11,154円	10,747円	10,722円	10,520円	10,220円

[元本増減－第41期から第46期]

第41期首元本額	4,865,735,669円
第41～第46期中追加設定元本額	102,500,641円
第41～第46期中一部解約元本額	271,775,684円

○損益の状況

項 目	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
	2024年9月21日～ 2024年10月21日	2024年10月22日～ 2024年11月20日	2024年11月21日～ 2024年12月20日	2024年12月21日～ 2025年1月20日	2025年1月21日～ 2025年2月20日	2025年2月21日～ 2025年3月21日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	159,328,449	△ 44,274,876	△138,090,435	19,161,722	△ 64,260,817	△134,004,837
売買益	159,970,605	531,296	769,164	21,279,244	391,012	583,571
売買損	△ 642,156	△ 44,806,172	△138,859,599	△ 2,117,522	△ 64,651,829	△134,588,408
(B) 信託報酬等	△ 7,970,996	△ 7,722,075	△ 7,509,176	△ 7,472,843	△ 7,409,747	△ 6,682,792
(C) 当期損益金(A+B)	151,357,453	△ 51,996,951	△145,599,611	11,688,879	△ 71,670,564	△140,687,629
(D) 前期繰越損益金	258,415,501	357,574,231	253,575,563	60,015,743	47,448,972	△ 47,456,258
(E) 追加信託差損益金	297,760,436	296,487,675	295,316,019	295,476,372	293,010,254	291,542,316
(配当等相当額)	( 261,073,177)	( 260,229,108)	( 259,812,536)	( 261,276,996)	( 259,344,989)	( 258,830,899)
(売買損益相当額)	( 36,687,259)	( 36,258,567)	( 35,503,483)	( 34,199,376)	( 33,665,265)	( 32,711,417)
(F) 計(C+D+E)	707,533,390	602,064,955	403,291,971	367,180,994	268,788,662	103,398,429
(G) 収益分配金	△ 48,386,390	△ 48,024,426	△ 47,586,408	△ 23,787,334	△ 23,584,829	0
次期繰越損益金(F+G)	659,147,000	554,040,529	355,705,563	343,393,660	245,203,833	103,398,429
追加信託差損益金	297,760,436	296,487,675	295,316,019	295,476,372	293,010,254	291,542,316
(配当等相当額)	( 261,073,192)	( 260,229,135)	( 259,812,578)	( 261,277,061)	( 259,344,999)	( 258,830,922)
(売買損益相当額)	( 36,687,244)	( 36,258,540)	( 35,503,441)	( 34,199,311)	( 33,665,255)	( 32,711,394)
分配準備積立金	361,386,564	309,549,805	257,183,137	231,813,435	205,962,987	204,454,382
繰越損益金	—	△ 51,996,951	△196,793,593	△183,896,147	△253,769,408	△392,598,269

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

項 目	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
(a) 配当等収益(費用控除後)	17,432円	0円	0円	9,557円	0円	0円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後)	92,622,103円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	297,760,436円	260,229,135円	259,812,578円	261,277,061円	259,344,999円	258,830,922円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	317,133,419円	357,574,231円	304,769,545円	255,591,212円	229,547,816円	204,454,382円
(e) 分配対象収益(a+b+c+d)	707,533,390円	617,803,366円	564,582,123円	516,877,830円	488,892,815円	463,285,304円
( 1 万 口 当 た り )	1,462円	1,286円	1,186円	1,086円	1,036円	986円
(f) 収 益 分 配 金 額	48,386,390円	48,024,426円	47,586,408円	23,787,334円	23,584,829円	0円
( 1 万 口 当 た り )	100円	100円	100円	50円	50円	0円

○分配金のお知らせ

	第41期	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
1 万口当たり分配金（税込み）	100円	100円	100円	50円	50円	0円

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本（受益者のファンドの購入価額）と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2025年3月21日現在）

<シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド>

下記は、シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド全体（12,190,516千口）の内容です。

外国投資信託証券

銘 柄	第40期末		第46期末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・リクイディティ クラスI	1	1	0.134	19	0.0	
シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・グローバル・シティーズ クラスI	435,009	388,159	100,902	15,040,536	97.2	
合 計	口 数 ・ 金 額	435,010	388,160	100,902	15,040,556	
銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<97.2%>		

(注) 邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) <>内は、このファンドが組入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

〈シュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンド 第4期〉

【計算期間 2023年9月21日から2024年9月20日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年9月20日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラス I 投資証券」</li> <li>・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラス I 投資証券」</li> </ul> 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		参考指数*		投資信託 組入比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
(設定日) 2021年5月25日	円 10,000	% —	583,293	% —	% —	百万円 967
1期(2021年9月21日)	10,484	4.8	610,945	4.7	97.5	11,990
2期(2022年9月20日)	11,104	5.9	666,678	9.1	97.5	20,501
3期(2023年9月20日)	11,123	0.2	661,828	△ 0.7	97.2	20,181
4期(2024年9月20日)	13,236	19.0	784,855	18.6	97.4	18,048

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 基準価額は1万円当たり。

※当ファンドは、ベンチマークを設けておりません。

参考指数は、FTSE EPRA NAREIT Developed index (税控除後配当込み) (円換算) です。

※FTSE EPRA NAREIT Developed indexは、世界の上場している不動産関連株式や不動産投資信託証券のパフォーマンスに追随するよう投資可能な市場で取引されている銘柄を基準に流動性やサイズ、収益性により選別された構成銘柄からなる指数で、European Public Real Estate Association (以下、EPRA) と共にFTSE Russellにより算出されています。ロンドン証券取引所グループとそのグループ企業\*が本指数のライセンサーです (\*FTSE International Limited (LSEグループ)、EPRA、the National Association of Real Estate Investments Trusts (NAREIT) を含みます)。

FTSE RussellはLSEグループ企業の商標です。FTSEとRussellは関連するLSEグループ企業の登録商標、NAREITはNAREITの登録商標、EPRAはEPRAの登録商標で、それぞれ許可を受けた他のLSEグループ企業によって使われ、関連指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はライセンサーに帰属しております。ライセンサーは指数データまたは内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わず、本ファンドへの投資を促進、保証または推奨するものではありません。関係するLSEグループ企業の書面による同意がない限り、LSEグループ企業が提供する指数データの再配布は禁じられております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		参 考 指 数	騰 落 率		投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2023年 9月20日	円 11,123	% -			% -		% 97.2
9月末	10,606	△ 4.6		661,828	△ 4.0		97.8
10月末	10,109	△ 9.1		635,482	△ 9.1		98.1
11月末	11,068	△ 0.5		601,716	△ 0.3		98.0
12月末	11,679	5.0		659,644	6.8		98.4
2024年 1月末	11,823	6.3		706,607	5.8		98.2
2月末	11,925	7.2		700,134	6.7		98.8
3月末	12,534	12.7		705,955	11.3		98.7
4月末	12,297	10.6		736,731	9.6		98.6
5月末	12,362	11.1		725,160	10.6		98.6
6月末	12,834	15.4		732,148	14.7		98.0
7月末	12,866	15.7		759,052	16.0		98.1
8月末	12,912	16.1		767,488	16.0		98.4
(期 末) 2024年 9月20日	13,236	19.0		767,421	18.6		97.4

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 騰落率は期首比。

※当ファンドは、ベンチマークを設けておりません。

参考指数は、FTSE EPRA NAREIT Developed index (税控除後配当込み) (円換算) です。

※FTSE EPRA NAREIT Developed indexは、世界の上場している不動産関連株式や不動産投資信託証券のパフォーマンスに追随するよう投資可能な市場で取引されている銘柄を基準に流動性やサイズ、収益性により選別された構成銘柄からなる指数で、European Public Real Estate Association (以下、EPRA) と共にFTSE Russellにより算出されています。ロンドン証券取引所グループとそのグループ企業\*が本指数のライセンスラーです (\*FTSE International Limited (LSEグループ)、EPRA、the National Association of Real Estate Investments Trusts (NAREIT) を含みます)。

FTSE RussellはLSEグループ企業の商標です。FTSEとRussellは関連するLSEグループ企業の登録商標、NAREITはNAREITの登録商標、EPRAはEPRAの登録商標で、それぞれ許可を受けた他のLSEグループ企業によって使われ、関連指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はライセンスラーに帰属しております。ライセンスラーは指数データまたは内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わず、本ファンドへの投資を促進、保証または推奨するものではありません。関係するLSEグループ企業の書面による同意がない限り、LSEグループ企業が提供する指数データの再配布は禁じられております。

○運用経過

(2023年9月21日～2024年9月20日)

期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、期首(2023年9月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 当ファンドの参考指数は、FTSE EPRA NAREIT Developed index (税控除後配当込み)(円換算)です。

○基準価額の主な変動要因

期首11,123円でスタートした基準価額は、13,236円で期末を迎え、期首比19.0%の上昇となりました。一方、参考指数であるFTSE EPRA NAREIT Developed index (税控除後配当込み)(円換算)は、18.6%の上昇で、当ファンドは、参考指数を0.4%上回りました。

当期、ファンドのリターンはプラスとなりました。国別では、主にオーストラリアや日本、米国などへの配分が上昇要因となった一方、シンガポールへの配分が下落要因となりました。セクター別では、トランクルームリートやヘルスケアリートなどへの配分が主な上昇要因となりました。

## 投資環境

当期、世界の不動産株式およびリート市場は、上昇しました。当期初から2023年10月にかけては、米国の堅調な個人消費、コア・インフレ率の高止まりを背景に米国長期金利が上昇したほか、中東情勢の悪化が相場の重しとなり、下落しました。その後、世界的なインフレ鈍化等を背景に米連邦準備制度理事会（FRB）の早期利下げ期待が高まったことで、主要債券市場で金利が低下基調となり、年末にかけて上昇基調に転じました。2024年に入ると、米国の主要経済指標が堅調な内容を示したことでFRBの早期利下げ観測が剥落し、米国長期金利の上昇などが足枷となる中、世界の不動産株式およびリート市場は方向性の欠ける展開が続きましたが、5月以降はFRBが9月に利下げに踏み切るとの見方が再度進展したことで米国長期金利は再び低下基調となり、世界の不動産株式およびリート市場は上昇しました。特に、7月から8月にかけては、株式市場でグロース銘柄がアンダーパフォームする市場環境となったことも追い風となり、上昇モメンタムが加速しました。米ドル円レートについては、FRBの早期利下げ期待の広がり等を背景に、2023年11月頃から年末にかけて円高が進行しましたが、2024年に入ると、利下げ期待の剥落、堅調な一部の米国の経済指標の発表などを受けて、7月中旬まで円安基調となりました。しかし、その後は米国景気に対する懸念が高まったほか、日本銀行が金融政策正常化を進めるとの見方が広がったこと等も相まって急速に円高が進行し、当期を通じて、円は対米ドルで上昇しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

2023年9月から10月にかけて、米国ではヘルスケアリート、オフィスリート、工業用リート、住宅リート等の広範なセクターで組み入れを変更しました。また、トランクルームリートの保有を削減したほか、英国の国民保険サービス予算の緊縮でアシュラ（英国のヘルスケアリート）を全売却しました。11月は、分散の観点で三井不動産を一部売却、住友不動産を新規購入しました。12月は、オフィスリートで入れ替えを行ったほか、データセンターの好業績を背景にデジタル・リアルティ（データセンターリート）の保有を一部削減しました。また、英国の各種リートを新規購入しました。2024年1月から2月にかけては米国の集合住宅用リートと工業用リートで入れ替えを行いました。また、投資妙味が薄れたとみてシンガポールのデータセンターリートを売却したほか、香港の店舗用リートへの配分を増やしました。3月から4月にかけては、上昇余地から銘柄を変更したほか、年初来好調に推移していた銘柄を一部売却しました。米国の各種リートの保有を追加したほか、オーストラリアの住宅関連銘柄で入れ替えを行いました。5月、欧州では各種リートの保有を引き下げ、店舗用リートを新規購入したほか、英国のトランクルームリートを売却しました。また、日本の組入銘柄を変更しました。6月、米国では、店舗用リートで入れ替え、工業用リートの一部売却を行ったほか、業種分散を企図して電波塔リートを新規購入しました。7月、三菱地所や三井不動産、住友不動産などを一部売却したほか、米国では一戸建て住宅用リートの保有を削減し、各種リートを積み増しました。また、英国の銘柄を入れ替えました。8月、米国ではヘルスケアリートや店舗用リートを一部売却した一方、人口動態が追い風になるとみてインベントラスト・プロパティーズ（米国の店舗用リート）に対して新規投資を行いました。

### <ファンドの主要投資対象におけるサステナビリティ基準適合比率について>

ファンドの主要な投資対象ファンドである「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラスI 投資証券」は、持続可能な投資を目的としています。これは、より環境に強く、革新的な都市とインフラ・ストラクチャーに貢献する投資です。この目的を確実にするために、投資運用会社は投資対象銘柄の選択において以下のプロセスによりサステナビリティ基準を適用します。

投資可能なユニバースは2段階においてサステナビリティ指標を用いて分析され、サステナビリティ評価が低い銘柄は除外されます。

— ステージ1では、都市スコアの策定を実施し、企業が所有する物件のロケーションを定量的に評価します。

投資可能なユニバースからサステナビリティ評価が低い企業は除外されます。

— ステージ2では、シュローダー独自および外部機関のサステナビリティ分析ツールを用いて企業を定量的に評価します。投資可能なユニバースのうち、サステナビリティ評価の相対的に低い企業は除外されます。

投資運用会社は、かかるプロセスにより、ファンドの主要な投資対象ファンドの純資産総額の90%以上の組入銘柄がサステナビリティ基準に適合することを確保します。

2023年9月21日から2024年9月20日までの報告期間中、ファンドの主要な投資対象ファンドは、上記のプロセスにより設定されたサステナビリティ基準を満たす投資可能なユニバースにのみ投資しました。

2024年9月20日現在、投資対象ファンドの純資産総額に対してシュローダーのサステナビリティ基準に適合した組入銘柄のエクスポージャーは98.4%となっています。

### <スチュワードシップ方針について>

シュローダーは、投資先企業やその事業環境等に関する深い理解に基づく「建設的な対話」(エンゲージメント)、積極的な議決権行使などを通じて、当該企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、投資リターンの拡大を図る責任を有すると考えています。

伝統的な財務分析に加え、企業が環境、社会、ガバナンス(ESG)に関するリスクにどの程度さらされているか、また、それをどのように管理しているか、を分析することは、適正な企業価値の理解、長期的に持続可能な利益を創出する能力の見極めという観点で非常に有益だと考えています。

シュローダーのスチュワードシップ・コードに係わる取組み内容やエンゲージメントの実施例については、委託会社のホームページをご参照ください。

(<https://www.schroders.com/ja-jp/jp/intermediary/about-us/stewardshipcode/>)

### 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマークは設けておりません。

## ○今後の運用方針

投資家は、2022年に金利上昇を受けて不動産セクターから資金を引き揚げ、足元も不動産セクターの保有比率を低位で維持しています。2008年の金融危機時も不動産セクターに対する投資家の選好姿勢は弱まりましたが、これは、不動産セクターのファンダメンタルズの悪化を反映したものでした。一方、足元の不動産セクターのファンダメンタルズは堅調であり、安定したインカムと成長機会を提供していると考えます。ファンダメンタルズが堅調を維持する中、主要国における金利低下が進んだ場合、不動産価値の上昇につながるとみえています。また、投資家の資金引き揚げを受けて、上場不動産と未上場不動産のバリュエーション（価値評価）には乖離が存在しています。上場不動産は相対的に割安な水準で取引される中、上場不動産の非公開化が活発に行われており、バリュエーション水準が魅力的であることを示唆しています。

そのほか、データセンターにおいては人工知能を巡る発展期待、住宅用セクターにおいては賃料収入の上昇、ヘルスケアセクターにおいては人口動態の変化等、セクター毎に不動産市場にとって追い風となる要因が存在すると考えます。このような環境下、収益性と物件価値の向上を期待しています。

当ファンドでは、当面の運用方針として競争力の高い都市に物件を持ち、サステナビリティの観点から銘柄を厳選することでポートフォリオを構築しています。投資銘柄の選定や配分決定プロセスにおいて独自のESG分析を利用しています。運用チームは、引き続き、不動産市場での変化のトレンドから恩恵を受けると考えられる銘柄、特にデジタル経済の台頭をサポートする銘柄を選好する方針です。運用チームは、これらのトレンドが今後も進展し、3年～5年の投資期間にわたってポートフォリオのパフォーマンスを向上させると考えています。

## ○1万口当たりの費用明細

(2023年9月21日～2024年9月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	円 0	% 0.001	(a) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.000)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.001)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI: Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料等
合計	0	0.001	
期中の平均基準価額は、11,917円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年9月21日～2024年9月20日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドグローバル・シティーズ クラスI	—	—	144,014	35,787

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月21日～2024年9月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年9月20日現在)

外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末)		当期末		比率
		口数	口数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%	
	シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドドル・リクイディティ クラスI	1	1	0.131	18	0.0
	シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンドグローバル・シティーズ クラスI	579,024	435,009	123,191	17,586,787	97.4
合計	口数・金額	579,025	435,010	123,191	17,586,806	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<97.4%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2024年9月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	17,586,806	97.0
コール・ローン等、その他	541,710	3.0
投資信託財産総額	18,128,516	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (17,896,439千円) の投資信託財産総額 (18,128,516千円) に対する比率は98.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=142.76円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年9月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	18,434,924,838
コール・ローン等	232,308,131
投資証券(評価額)	17,586,806,025
未収入金	615,809,983
未収利息	699
(B) 負債	386,601,525
未払金	309,228,738
未払解約金	77,372,787
(C) 純資産総額(A-B)	18,048,323,313
元本	13,636,110,670
次期繰越損益金	4,412,212,643
(D) 受益権総口数	13,636,110,670口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,236円

[元本増減]

期首元本額	18,144,476,460円
期中追加設定元本額	553,696,937円
期中一部解約元本額	5,062,062,727円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュロダー・グローバル・リートESGフォーカス・ファンド(資産成長型)	9,494,825,603円
シュロダー・グローバル・リートESGフォーカス・ファンド(予想分配金提示型)	4,141,285,067円

○損益の状況

(2023年9月21日~2024年9月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	207,317
受取利息	297,035
支払利息	△ 89,718
(B) 有価証券売買損益	3,353,707,535
売買益	3,884,901,532
売買損	△ 531,193,997
(C) 保管費用等	△ 153,700
(D) 当期損益金(A+B+C)	3,353,761,152
(E) 前期繰越損益金	2,037,431,648
(F) 追加信託差損益金	108,598,237
(G) 解約差損益金	△1,087,578,394
(H) 計(D+E+F+G)	4,412,212,643
次期繰越損益金(H)	4,412,212,643

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<参考>マザーファンドが投資対象とする組入投資信託証券の内容

以下、当運用報告書作成期末時点でシュローダー・グローバル・リートESGフォーカス・マザーファンドが保有している各投資信託証券の直前の計算期間の内容を開示いたします。

「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・シティーズ クラスI 投資証券」の運用状況

<ファンドの概要>

形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主 な 投 資 対 象	投資運用会社がサステナブルな投資先であるとする世界の不動産関連株式および株式関連証券	
運 用 の 基 本 方 針 および主な投資制限	<p>投資運用会社がサステナブルな投資先であるとする世界の不動産関連株式および株式関連証券への投資を通じて元本成長とFTSE EPRA NAREIT Developed index（税控除後配当込み、米ドルベース）を中長期で上回る（費用控除後）収益確保を目指します。</p> <p>※ 欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ファンドはアクティブ運用され、強じんて革新的な都市やインフラストラクチャーに貢献するサステナブル投資に振り向けます。また、短期金融資産への投資や現金の保有のほか、リスクの抑制および資産の効率的な運用のためのデリバティブ取引など、投資運用会社がサステナビリティ基準に基づいて中立であるとみなした投資を行います。</li> <li>■ ファンドは投資運用会社のウェブページ (<a href="https://www.schroders.com/en-lu/lu/individual/fund-centre">https://www.schroders.com/en-lu/lu/individual/fund-centre</a>) に掲げる「サステナビリティ関連開示」に記載される上限を超えて特定の活動、業界または発行体グループへの直接投資は行いません。</li> <li>■ ファンドは投資運用会社の投資基準に定められた通り、環境や社会に重大な悪影響を与えず優れたガバナンスを実践する企業に投資します。</li> <li>■ 投資運用会社はファンドが行なうサステナビリティ問題に関する弱点分野を特定する試みに対して投資対象企業と建設的な対話をすることもあります。投資運用会社のサステナビリティや投資対象会社との建設的な対話の方法に関する詳細は投資運用会社のウェブページ (<a href="https://www.schroders.com/en-lu/lu/individual/what-we-do/sustainable-investing/our-sustainable-investment-policies-disclosures-voting-reports/disclosures-and-statements/">https://www.schroders.com/en-lu/lu/individual/what-we-do/sustainable-investing/our-sustainable-investment-policies-disclosures-voting-reports/disclosures-and-statements/</a>) で入手可能です。</li> <li>■ ファンドはその資産の2/3以上を世界の不動産関連株式および株式関連証券へ投資し、強固な都市インフラストラクチャーや開発計画支援体制により経済的成長を続けると投資運用会社が考える都市に投資する企業を中心に投資を行います。</li> <li>■ ファンドは純資産の1/3以下の範囲で、直接または間接的に世界の不動産関連株式や株式関連証券以外の投資証券（他の資産クラスを含む）、国、地域、業種、通貨、投資ファンド、ワラント債、短期金融商品に投資し、現金を保有することがあります。</li> <li>■ リスクの抑制および資産の効率的な運用のためデリバティブ取引を行うことがあります。</li> </ul>	
投 資 運 用 報 酬	ありません。	
管 理 報 酬 等	ファンドの純資産総額に対して年率0.06%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決 算 日	12月31日	
設 定 日	2005年10月31日	
フ ァ ン ド の 関 係 法 人	管 理 会 社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投 資 運 用 会 社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッド
	保 管 会 社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

※投資対象ファンドであるSISF グローバル・シティーズ クラスI 投資証券（ファンド）は持続可能な投資を行うという投資目的（欧州サステナブル投資開示規則9条：Article 9 SFDR）を有します。この投資目的を有するファンドは、その結果として一部の企業、業界、セクターに対するエクスポージャーが限られる可能性があり、投資運用会社により選定されたサステナビリティ基準に合致しない一定の投資機会を見送ったり、特定の保有銘柄を処分する可能性があります。持続可能な投資の構成について投資者間で異なる見解を有する可能性があります。ファンドは特定の投資者の信念および価値を反映しない企業にも投資する可能性があります。

(注) 以下の内容は、シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・グローバル・シティーズ

Statement of Operations for the Year Ended  
31 December 2023

Schroder ISF Global Cities  
USD

<b>NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEAR</b>	<b>667,918,989</b>
<b>INCOME</b>	
Dividend income, net of withholding taxes	19,293,945
Interest income from investments, net of withholding taxes	-
Interest on swap contracts	
Bank interest	507,678
<b>TOTAL INCOME</b>	<b>19,801,623</b>
<b>EXPENSES</b>	
Management fees	3,689,240
Performance fees	-
Administration fees	797,711
Taxe d'abonnement	191,378
Depository fees	55,129
Distribution fees	194,690
Dividend expense on contracts for difference	
Bank and other interest expenses	-
Interest on swap contracts	
Operating expenses	126,286
<b>TOTAL EXPENSES</b>	<b>5,054,434</b>
Less: Expense subsidy	-
<b>NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)</b>	<b>14,747,189</b>
<b>Net realised gain/(loss) on:</b>	
Sale of investments	( 53,301,950)
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	204,596
Swaps contracts	( 188)
Currency exchange	( 70,447)
<b>NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR</b>	<b>( 53,167,989)</b>
<b>Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:</b>	
Investments	101,643,278
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	327,041
Swaps contracts	
Currency exchange	18,618
<b>NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR</b>	<b>101,988,937</b>
<b>INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS</b>	<b>63,568,137</b>
Subscriptions	120,229,738
Redemptions	( 180,617,533)
<b>INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPI</b>	<b>( 60,387,795)</b>
Dividend distributions	( 859,058)
<b>NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR</b>	<b>670,240,273</b>

【上位10銘柄】

(2023年12月31日現在)

	銘柄名	国・地域	業種	比率 (%)
1	エクイニクス	米国	データセンターリート	5.0
2	デジタル・リアルティ	米国	データセンターリート	4.7
3	サイモン・プロパティ	米国	店舗用リート	4.6
4	プロロジス	米国	工業用リート	4.3
5	レックスフォード・インダストリアル・リアルティ	米国	工業用リート	4.3
6	パブリック・ストレージ	米国	トランクルームリート	3.5
7	インビテーション・ホームズ	米国	一戸建て住宅用リート	3.4
8	アバロンベイ・コミュニティーズ	米国	集合住宅用リート	3.3
9	ウェルタワー	米国	ヘルスケアリート	3.2
10	三菱地所	日本	各種不動産事業	2.9
			<b>銘柄数</b>	<b>57</b>

「シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスI 投資証券」の運用状況

<ファンドの概要>

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主な投資対象	米ドル建ての短期金融資産	
運用の基本方針および主な投資制限	<p>ファンドはアクティブ運用され、主として米ドル建ての短期金融資産（S&amp;P グローバル・レーティングによる投資適格以上あるいは管理会社の内部格付調査において取得した他社同等格付以上）への投資を通じて、流動性の確保と元本の保全を目指します。これらの証券は、取得時において、当初から又は残存期間が12ヶ月以内であること（付随する金融商品を考慮にいれる）、もしくは採用金利が少なくとも市況に応じて年次で調整され残存期間が2年以内であるものを前提とします。</p> <p>※元本の保全と流動性の確保を保証するものではありません。                  ※欧州委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。</p> <p>■為替変動リスクおよび金利変動リスクのヘッジのため、デリバティブ取引を活用することがあります。</p> <p>■現金を保有し、金融機関へ預金することがあります。</p>	
投資運用報酬	ありません。	
管理報酬等	ファンドの純資産総額に対して年率0.05%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決算日	12月31日	
設定日	2002年7月4日	
ファンドの関係法人	管理会社	シュロダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投資運用会社	シュロダー・インベストメント・マネージメント・ノースアメリカ・インク
	保管会社	J. P. モルガン・エスイー、ルクセンブルグ支店

(注) 以下の内容は、シュロダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティの全てのクラスを合算しております。

(注) 以下の内容は、シュロダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ

Statement of Operations for the Year Ended  
31 December 2023

Schroder ISF US Dollar  
Liquidity  
USD

<b>NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEAR</b>	<b>431,954,228</b>
<b>INCOME</b>	
Dividend income, net of withholding taxes	-
Interest income from investments, net of withholding taxes	20,802,798
Interest on swap contracts	-
Bank interest	2,115,102
<b>TOTAL INCOME</b>	<b>22,917,900</b>
<b>EXPENSES</b>	
Management fees	738,948
Performance fees	-
Administration fees	225,035
Taxe d'abonnement	51,655
Depository fees	18,102
Distribution fees	-
Dividend expense on contracts for difference	-
Bank and other interest expenses	-
Interest on swap contracts	-
Operating expenses	98,845
<b>TOTAL EXPENSES</b>	<b>1,132,585</b>
Less: Expense subsidy	-
<b>NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)</b>	<b>21,785,315</b>
<b>Net realised gain/(loss) on:</b>	
Sale of investments	( 164,463)
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	( 169)
Swaps contracts	-
Currency exchange	( 26,633)
<b>NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR</b>	<b>( 191,265)</b>
<b>Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:</b>	
Investments	1,206,378
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	-
Swaps contracts	-
Currency exchange	-
<b>NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR</b>	<b>1,206,378</b>
<b>INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS</b>	<b>22,800,428</b>
Subscriptions	507,689,498
Redemptions	( 428,577,383)
<b>INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPITAL</b>	<b>79,112,115</b>
Dividend distributions	-
<b>NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR</b>	<b>533,866,771</b>

Portfolio of Investments of the Year Ended 31 December 2023

Investments	Currency	Quantity/ Nominal Value	Market Value USD	% of Net Assets
<b>Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing</b>				
<b>Bonds</b>				
<b>Financials</b>				
US Treasury Bill 0% 25/01/2024	USD	24,934,000	24,850,288	4.65
US Treasury Bill 0% 31/10/2024	USD	24,099,000	23,154,456	4.34
			<b>48,004,744</b>	<b>8.99</b>
<b>Total Bonds</b>			<b>48,004,744</b>	<b>8.99</b>
<b>Total Transferable securities and money market instruments admitted to an official exchange listing</b>			<b>48,004,744</b>	<b>8.99</b>
<b>Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market</b>				
<b>Bonds</b>				
<b>Financials</b>				
US Treasury Bill 0% 02/01/2024	USD	42,281,000	42,281,000	7.92
US Treasury Bill 0% 09/01/2024	USD	24,797,000	24,771,747	4.64
US Treasury Bill 0% 29/02/2024	USD	26,525,000	26,301,426	4.93
US Treasury Bill 0% 12/03/2024	USD	26,963,000	26,690,623	5.00
US Treasury Bill 0% 11/04/2024	USD	27,051,000	26,660,545	4.99
US Treasury Bill 0% 09/05/2024	USD	44,500,000	43,684,760	8.19
US Treasury Bill 0% 23/05/2024	USD	23,989,000	23,507,036	4.40
US Treasury Bill 0% 20/06/2024	USD	22,585,000	22,046,962	4.13
			<b>235,944,099</b>	<b>44.20</b>
<b>Total Bonds</b>			<b>235,944,099</b>	<b>44.20</b>
<b>Commercial Papers</b>				
<b>Financials</b>				
Barclays Bank plc, 144A 0% 18/01/2024	USD	20,000,000	19,940,272	3.74
DNB Bank ASA 0% 14/05/2024	USD	15,000,000	14,700,345	2.75
Lloyds Bank plc 0% 17/06/2024	USD	25,000,000	24,372,937	4.57
Mizuho Bank Ltd. 0% 22/02/2024	USD	25,000,000	24,794,119	4.64
Royal Bank of Canada 0% 18/03/2024	USD	25,000,000	24,702,963	4.63
Santander UK plc 0% 05/02/2024	USD	25,000,000	24,857,552	4.66
Standard Chartered plc 0% 06/06/2024	USD	25,000,000	24,410,704	4.57
Toronto-Dominion Bank (The), 144A 0% 10/09/2024	USD	25,000,000	24,098,347	4.51
Westpac Banking Corp. 0% 11/09/2024	USD	25,000,000	24,102,392	4.51
			<b>205,979,631</b>	<b>38.58</b>
<b>Total Commercial Papers</b>			<b>205,979,631</b>	<b>38.58</b>
<b>Total Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market</b>			<b>441,923,730</b>	<b>82.78</b>
<b>Total Investments</b>			<b>489,928,474</b>	<b>91.77</b>
<b>Cash</b>			<b>44,254,750</b>	<b>8.29</b>
<b>Other assets/(liabilities)</b>			<b>( 316,453)</b>	<b>(0.06 )</b>
<b>Total Net Assets</b>			<b>533,866,771</b>	<b>100.00</b>